

江戸時代の村と現代④

徳川幕府の圧倒的な軍事力が、その背景としてあったにせよ、日本国内では、永く続く泰平の世が訪れました。そうになると、武士は官僚化して、天下国家の経営能力などが問われるようになりました。一方で、農民たちも、自治能力などが問われるようになります。

兵農分離以降、武士は城下町や武家屋敷に住み、農村には農民が住むというのが原則となっていましたので、ある意味その前提条件は、すでに整っていたともいえます。同時にそれは、身分によらず「読み書きそろばん」の能力が求められる社会、端的にいえば、教育が必要な社会になっていく前提でもありました。武士は武士で国家経営、藩経営、あるいは村落経営をするため、農民は農民で村落自治、年貢納入や田畑経営などのために、「読み書きそろばん」の能力が必要とされるようになったのです。

江戸時代の庶民の識字率については、低いものと一般的には思われがちですが、それはあくまで現代日本社会と比較してという前提です。江戸時代の日本は、年代や地域による違いが多少あったとしても、世界的な視点で見れば、同時代としては相当識字率の高い国家であったと認識されています。また、そ

の数字は、寺子屋など庶民教育の広がりにより、時代が下るにつれて上昇していったと考えられています。

因みに杉戸町域での寺子屋については、現存する筆子塚、手習いの教科書として使用された典籍などが各旧家で確認出来ることから、各村で存在していたことは、状況証拠として間違いありません。

いずれにしても、こうした庶民を含めた、「読み書きそろばん」の高いリテラシーが無ければ、江戸時代、いわゆる日本の近世社会、村社会は成り立たなかったのではないのでしょうか。



▲寺子屋での教科書の一つ。

※筆子塚とは、寺子屋の師匠（先生）が亡くなったときに、教え子たちが建てた石碑や墓碑のこと。

（社会教育課 町史・文化財担当編）

Enjoy Sports ★ スポーツ協会 Vol.7

杉戸町空手道連盟

団体数
2団体：松濤館空手道禅心館
全日本空手道連盟和道会白水修養会
加盟人数：264名

- 実績等**
- 2020年度全国中学生空手道大会出場
 - ・和道会白水修養会 笈沼 知広
 - 2021年度全日本空手道選手権大会出場
 - ・松濤館空手道禅心館 片岡 滉晴
 - ・和道会白水修養会 荒川 雅俊

活動内容&PR

空手道は厳しく怖いイメージがありますが、相手を思いやる心を育てる教育でもあり、スポーツでもあります。自分の体力・目標に合わせて取り組めるようサポートしますので、一緒に心地良い、汗を流してみませんか。

▶杉戸町空手道連盟についての問合せ 事務局 飯山 茂 ☎080 (3489) 5069

問合せ 杉戸町スポーツ協会事務局
社会教育課 スポーツ振興担当 内線493



ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。

杉戸町 ホームページ



メール配信 すぎめー



広報スマホ版 マチイロ

